

50周年 2026年4月号 (No.535)
 宮崎医療生活協同組合
 http://www.miyazaki-iryuu.coop/
 〒880-0824 宮崎市大島町天神前1175-3
 発行 機関紙編集委員会
 責任者 仁田脇弘文

おげんきですか

宮崎生協病院 ☎0570-006-877 FAX 29-4839
 http://m-seikyoyouth.com
 和知川原生協クリニック ☎(0985)23-0050 FAX 23-0303
 このはな生協クリニック ☎(0985)58-1222 FAX 58-3110
 おおつか生協クリニック ☎(0985)52-6715 FAX 51-9004
 生協クリニックのべおか ☎(0982)26-7100 FAX 26-7101
 訪問看護ステーションれいんぼう ☎(0985)23-7728 FAX 24-0515
 居宅介護支援事業所れいんぼう ☎(0985)24-8538 FAX 24-0515
 ホームヘルパーはれいんぼう ☎(0985)24-8538 FAX 24-0515
 居宅介護支援事業所宮崎生協病院 ☎(0985)24-6545 FAX 29-4839
 居宅介護支援事業所宮崎生協病院 ゆい ☎(0982)31-1453 FAX 31-1452
 生協ホームヘルプサービス ☎(0982)26-2536 FAX 31-1452
 訪問看護ステーションそれいんぼう ☎(0982)31-1442 FAX 31-1452
 宮崎医療生活協同組合 ☎(0985)23-7168 FAX 26-1944

地域とともに、次の50年を 宮崎医療生協2026年度活動方針



県北支部で行われた「憩いの家 秋祭り」

第一の柱は、組合員さんの活動参加の輪を広げることです。「支部のたまり場」「あそび健康相談会」「グラウンドゴルフ」などの取り組みは、誰でも参加できる大切な居場所です。「ちよつと顔を出してみよう」から始まり、顔見知りになり、やがて声をかける側になる。その関わりが広がります。生協の力です。毎回参加できなくても、その活動の積み重ねこそが地域の支え合いを生みます。今年度は、こうした「気づいたら仲間になっていた」という参加の輪をさらに広げていきます。

2026年、宮崎生協病院は創立50周年を迎えます。「安心して医療を受けたい」という地域の願いから始まった宮崎医療生協は、半世紀にわたり地域とともに歩んできました。いま私たちは、「超高齢化」「人材不足」「地域包括ケア」の充実という大きな転換点に立っています。医療や介護の需要が高まる一方で、担い手の確保や経営環境は厳しさを増しています。2026年度は、組合員さんと職員が協同し、「健康づくり」と「まちづくり」を両輪に、誰も取り残さない地域づくりを進めていきます。実現に向けて、4つの柱を紹介いたします。

医療・介護の「質と量」を両立し、地域の期待に応える

第三の柱は、経営と事業継続についてです。医療・介護の需要が増える一方、人材不足や物価高騰で経営環境は厳しさを増しています。病院・クリニック・在宅・介護が一体となり、機能の明確化と連携を進めます。入院・外来診療に関する機能の整理、在宅診療の拡大、健康診断の効率化、透視医師の確保など、地域に必要なとされる医療・介護を安定して提供できる体制を整えます。

第二の柱は、地域のフレイル予防と認知症支援です。健康チェック(班会)や体操、学習会、居場所づくりを通じて、早期の気づきと重症化予防に取り組めます。本人とその家族を地域全体で支える視点を大切にします。医療や介護の現場だけに頼るのではなく、組合員さん同士のつながりや地域の力を活かすことが生協の特徴です。行政や地域包括支援センター、自治会などと連携しながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちをめざします。

第二の柱は、地域のフレイル予防と認知症支援です。健康チェック(班会)や体操、学習会、居場所づくりを通じて、早期の気づきと重症化予防に取り組めます。本人とその家族を地域全体で支える視点を大切にします。医療や介護の現場だけに頼るのではなく、組合員さん同士のつながりや地域の力を活かすことが生協の特徴です。行政や地域包括支援センター、自治会などと連携しながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちをめざします。

第四の柱はひとづくりです。離職防止と人材育成は喫緊の課題です。心理的安全性のある職場づくり、多職種連携の強化、学びの仕組みの充実を進めます。資格取得支援や接遇向上、困難事例の振り返りなどを通じて、専門性とチーム力を高めます。現場の職員が誇りを持ち、成長を実感できる職場こそ、地域に信頼される医療生協の土台です。

第四の柱はひとづくりです。離職防止と人材育成は喫緊の課題です。心理的安全性のある職場づくり、多職種連携の強化、学びの仕組みの充実を進めます。資格取得支援や接遇向上、困難事例の振り返りなどを通じて、専門性とチーム力を高めます。現場の職員が誇りを持ち、成長を実感できる職場こそ、地域に信頼される医療生協の土台です。

宮崎医療生協の信頼をさらに高め、患者さんに「ここに来れば何とかなる」と思っていたただける存在であり続けることが、私たちの使命です。

体温計

今から100年前の1926年、昭和が始まったこの年は日本と世界にとって大きな変化の年だった。世界を戦争ではなく、平和的な外交と国際法によって組織し直そうという第一次大戦後の理想的な試みが、その後わずか数年で崩壊していくことを告げた年だ。日本でも世界でも戦争を望む声が大きくなり、我が国は日中戦争への道を進み始め、あのヒットラーとともに第二次大戦を惹起した▼2026年の今、同じように大きな変化の時を迎えている。大戦後に作られた国際連合をその成立の立役者であり、民主主義の祖国として世界を牽引してきたアメリカ。そのトランプ政権が、国際法を無視し崩壊させようとしており、それにべったりの高市政権の軍拡暴走がある▼戦争への靴音が大きくなりそうなる時、黙って生きるのか、あらがうのか、私たちは今歴史の岐路に立っている。100年前のように、いつの間にか戦争反対の声を押しつぶされ戦争を望むような空気が生まれないようにしなければと思う。(T・M)

動き続けたい職場と、地域・医療生協を支える人材を育てる

第四の柱はひとづくりです。離職防止と人材育成は喫緊の課題です。心理的安全性のある職場づくり、多職種連携の強化、学びの仕組みの充実を進めます。資格取得支援や接遇向上、困難事例の振り返りなどを通じて、専門性とチーム力を高めます。現場の職員が誇りを持ち、成長を実感できる職場こそ、地域に信頼される医療生協の土台です。

体温計

今から100年前の1926年、昭和が始まったこの年は日本と世界にとって大きな変化の年だった。世界を戦争ではなく、平和的な外交と国際法によって組織し直そうという第一次大戦後の理想的な試みが、その後わずか数年で崩壊していくことを告げた年だ。日本でも世界でも戦争を望む声が大きくなり、我が国は日中戦争への道を進み始め、あのヒットラーとともに第二次大戦を惹起した▼2026年の今、同じように大きな変化の時を迎えている。大戦後に作られた国際連合をその成立の立役者であり、民主主義の祖国として世界を牽引してきたアメリカ。そのトランプ政権が、国際法を無視し崩壊させようとしており、それにべったりの高市政権の軍拡暴走がある▼戦争への靴音が大きくなりそうなる時、黙って生きるのか、あらがうのか、私たちは今歴史の岐路に立っている。100年前のように、いつの間にか戦争反対の声を押しつぶされ戦争を望むような空気が生まれないようにしなければと思う。(T・M)

生協クイズ (No.263) 出題 機関紙編集委員会

新年度が始まりました。4月に関するクイズをお楽しみください。

問1 4月7日は毎年「世界保健デー」としてさまざまな活動が世界中で行われていますが、近年名称が変更されました。正しいものをお選びください。

ア 世界衛生デー
 イ 世界健康デー
 ウ 世界保健デー

問2 4月18日は日付の語呂合わせである記念日です。正しいものをお選びください。

ア よい歯の日
 イ 健康食育の日
 ウ いん年(良3歳)の日

問3 花見のお供の定番、桜餅。この桜餅は、関東と関西で明確な違いがあります。間違っているものをお選びください。

ア 生地
 イ 形
 ウ あんこの有無

【応募方法】
 郵便はがきに、答え、住所、氏名、電話番号をご記入のうえ、「生協クイズ」係宛 ※名前の書き忘れがないようにご注意ください。

【送付先】
 〒8800824 宮崎市大島町天神前二七五-三 宮崎医療生活協同組合 「生協クイズ」係宛

【3月号の答え】
 問1 ウ(賞状の字を食へさせた)
 問2 ア(日本だけ)
 問3 ウ(世界で行われている)

【2月号の答え】
 正解45通 不正解6通
 川野 富貴子さん(日向市)
 中野 順子さん(宮崎市)
 河野 早苗さん(宮崎市)
 文下 美代子さん(宮崎市)
 利男 さん(宮崎市)
 永峰 さん(宮崎市)

※図書カードの発送は、紙面での発表が1か月程度のお時間をいただくことがありますがご了承ください。

4月の診療案内

宮崎市大島町天神前1171 宮崎生協病院
 内科・外科 ☎0570-006-877 小児科 ☎0985(24)6575 健康診断科 ☎0985(24)6566
 居宅介護支援事業所 ☎0985(24)6545

循環器内科(坂口)、消化器内科(古谷)、呼吸器内科(永友・三宅)、糖尿病内科(植野)、内科・リハビリ(浜田・高橋)、透析(西谷)、外科・肛門外科(山岡・松田・黒木・末岡)、小児科(山元・上野・久保・松尾)、後期研修医(川添・山下)、初期研修医(米坂・荒武・斎藤(優)・岩崎・小野原・斎藤(史))
 ※研修医は院外研修中の場合もあります。

月	内科				外科		小児科			
	午前	午後	夜間	休日	午前	午後	午前	午後	夜間	
月	受付 8:00~11:00 診療 8:30~12:00 ※紹介状をお持ちの方は9:00からの診療となります。	受付 13:30~16:30 診療 14:00~17:00	14:00~16:30 高橋麻里子	休診	山岡	山元・松尾	山元	久保	山元・松尾	松尾
火	交替制	古谷 井形 植野	交替制	休診	山岡 黒木	山元・松尾	松尾	久保	山元・松尾	休診
水	交替制	坂口	川添	休診	松田	山元・松尾	休診	久保	山元・松尾	松尾
木	交替制	坂口	小澤	13:30~17:00 永友	休診	山元・久保	山元	久保	山元・松尾	松尾
金	交替制	遠藤	呼吸器外来	交替制	黒木 山下(第1・3・5週)	山元・松尾	交替制	交替制	山元	山元
土	交替制	遠藤(第2週のみ) 永友(第4週のみ)	糖尿病外来 (第1週)	休診	第1・3・4・5週 交替制 第2週 未開	交替制	休診	休診	休診	休診

和知川原生協クリニック	おおつか生協クリニック	このはな生協クリニック	生協クリニックのべおか
宮崎市和知川原2丁目25-1 ☎0985(23)0050 診療時間: 午前 8:30~12:30(受付11:30)まで, 午後 14:00~16:30(受付16:00)まで, 夜間 17:00~19:00(受付18:30)まで	宮崎市大塚町大迫南平4401-2 ☎0985(52)6715 診療時間: 午前 8:30~12:30(受付11:30)まで, 午後 17:00~19:00(受付18:30)まで	宮崎市大字熊野1613 ☎0985(58)1222 診療時間: 午前 8:45~12:30(受付11:45)まで, 午後 15:00~18:00(受付17:40)まで	延岡市浜砂1丁目5-17 ☎0982(26)7100 診療時間: 午前 9:00~12:30(受付12:00)まで, 午後 15:00~17:30(受付17:00)まで
月 植野 植野 火 生協病院からの支援 水 植野 植野 木 植野 植野 金 植野 植野 土 植野(第3土曜休診)	月 遠藤 火 遠藤 水 遠藤 木 遠藤 金 生協病院からの支援 土 遠藤(第2・4土曜休診)	月 高田 高田 火 高田 水 高田 木 高田 金 高田 高田 土 高田(第3土曜休診)	月 末岡 末岡 火 末岡 末岡 水 古谷 古谷 木 古谷 古谷 金 古谷 古谷 土

在宅総合ステーション **れいんぼう** 宮崎市和知川原2丁目25-1 (れいんぼう会館内)
 ・居宅介護支援事業所 ☎0985(24)8538
 ・ホームヘルプサービス ☎0985(23)7728

在宅総合ステーション **それいゆ** 延岡市浜砂1丁目5番6号
 ・居宅介護支援事業所 ☎0982(31)1453
 ・ホームヘルプサービス ☎0982(26)2536
 ・訪問看護ステーション ☎0982(31)1442

れいんぼう会館 宮崎市和知川原2丁目25-1
 グループホーム にじの樹 TEL 0985-35-6022
 デイサービス和知川原 TEL 0985-32-3414

みんなの家 高齢者共同住宅 宮崎市大島町国草142-2 TEL 0985-75-0700

ぎおんの家 小規模多機能ホーム 高齢者共同住宅 宮崎市祇園3丁目195番地 TEL 0985-61-7720

おおつかの家 グループホーム 宮崎市大塚町西ノ後3435番地1 TEL 0985-52-2225

◎介護保険の申請や相談については上記の居宅介護支援事業所にお問い合わせください。

健康コーナー

研修医の斎藤史織です。研修医生活もあっという間に過ぎていきました。残りの期間も頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお祈りします。今月は私自身も最近悩まされているアレルギー性鼻炎について紹介します。

■アレルギー性鼻炎の仕組み

- ・花粉やダニなどのアレルゲン（アレルギーの原因物質）が鼻の粘膜に入ると、体の免疫がそれを異物として認識します。花粉が原因のアレルギー性鼻炎を花粉症と呼びます。
- ・初めて花粉が体に入ったとき、体はその物質に対する特別な抗体（IgE 抗体）を作ります。この抗体は肥満細胞（マスト細胞）という細胞の表面に結合します。
- ・次に同じ花粉が体に入ると、アレルゲンと抗体が反応し、肥満細胞からヒスタミンなどの炎症物質が放出されます。これにより、血管が広がり、血管の透過性が上がり、(※)神経が刺激されます。その結果、以下のような症状がでてきます。

- くしゃみ：神経が刺激されて起こる。
 - 鼻水：血管から水分がしみ出る。
 - 鼻づまり：鼻の粘膜が腫れる。
- さらに数時間後には炎症細胞が集まり、炎症が続くことで鼻づまりが長引くことがあります。

(※)血管の壁に隙間ができ、中を流れる血液の水分や栄養分が外へ漏れやすくなる状態

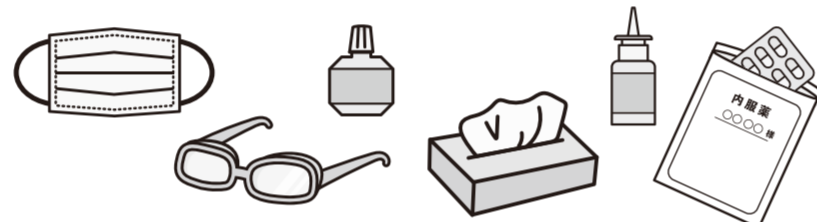


■治療

主な治療法は以下のものになります。

- ◎抗ヒスタミン薬（飲み薬）
ヒスタミンの働きを抑え、くしゃみ・鼻水・目のかゆみを改善します。薬の中には眠気が強く出るものもあるため、服用後の運転には注意する必要があります。
- ◎ステロイド点鼻薬
鼻の炎症を抑え、特に鼻づまりに効果があります。
- ◎ロイコトリエン受容体拮抗薬
アレルギー物質の働きを抑え、鼻づまりを改善します。
- ◎舌下免疫療法
花粉やダニに保険適応があります。

目のかゆみが気になる方は目薬も有効です。症状に心当たりのある方は耳鼻科や内科に相談なさってください。



宮崎生協病院 研修医 斎藤 史織

医系学生のためのフードパントリーへのご支援ありがとうございます

2021年2月から開催している、医系学生のための「フードパントリー」ですが、開催のきっかけは新型コロナウイルス感染症の流行で医系学生が置かれている現状の厳しさを支援することが目的でした。当時、「全日本医学生自治連合」が行った医学生へのアンケート調査によると、「アルバイトが制限」「保護者の収入が減り仕送りも減少している」など、7割近い医学生の収入が減少していることが明らかになりました。更には約6割の学生が「コロナによって精神状況が悪くなった」「人との繋がりに不安がある」と答えたことなど、様々な悪影響が明らかになりました。

フードパントリーの利用者は、2022年度は218名となり、新型コロナウイルス感染症が5類になったあとの24年度、25年度は半分以下の60名前後に減っています。しかし、複数のバイトを掛け持ちしている学生は未だに多くいます。物価高、正規雇用の減少などで親からの仕送りが減っている学生もいます。まだまだ需要はあると予測されます。困窮を抱える学生に気づく、見極めることも私たち医学生

担当の役割だと思っています。昨年9月には、大淀支部の方々が、フードパントリーの運営状況などの見学に清武の医系学生サポートセンターへお越し下さり、直接学生との対話も実現できました。フードパントリーを利用する学生も食材や日用品をご提供くださる方への感謝をメッセージカードに綴って帰っていきます。今後も継続して開催していきながら皆さまの想いを医系学生に届けたいと思います。

2021年からこれまで「医系学生のためのフードパントリー」を継続して開催できておりますのも、組合員の皆様や支部の皆様、職員の皆様などからのご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。
(医学生担当：中原志保)



感謝のメッセージを書く医系学生

おげんきですか文芸欄

〈短歌〉

神苑の花びら舞う中射手の弓
馬上の姿に拍手喝采
東大宮支部 戸田雅子さん

春や春わたしの春と佐保姫の
降りませるかな白すみれ咲く
都北支部 田爪方子さん

東大宮支部 田崎恵子さん

宮崎生協病院からのお知らせ

自動音声ガイダンス(ナビダイヤル)導入のお知らせ

このたび、2026年4月1日(水)より「ナビダイヤル方式」の電話受付を導入いたしました。これは、代表電話の混雑を緩和し、より確実に、よりスムーズに、必要な部署へおつながりするための改善策です。私たちはこれまで以上につながりやすく、わかりやすい電話対応をめざしてまいります。新しい仕組みでご不便をおかけすることもあるかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。○病院の電話番号が変わるわけではございません。

和知川原生協クリニックからのお知らせ

診療体制が変更となります

4月6日(月)より、和知川原生協クリニックの診療体制が以下のように変更となります。

受付終了時間 11:45 → 11:30
夜間外来 月・水曜 → 水曜のみ
午後診療 月・木曜追加

4面に変更後の詳しい体制表が掲載されています。

変更に関して、ご不便に感じられるかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

おげんきですか文芸欄

【小松支部】

2003年に小松支部が発足してから23年間お忙しい業務の合間を縫って、「おげんきですか」を配布して下さっている高田慎吾先生を紹介いたします。高田先生は、北海道出身で宮崎医科大学を卒業後、鹿児島生協病院や離島医療の経験を経て2002年に宮崎生協病院に入職。2020年よりこのはな生協クリニック所長として活躍されています。趣味は胡蝶蘭の花を育てることと写真の撮影で、所長着任当初は絶大な太平洋の日の出を撮影し、待合室や診察室に飾られていたそうです。患者さんには親身になって寄り添われており、穏やかなお人柄が親しまれています。

私たちが安心して地域医療を受けることのできる社会にするために、請願署名の取り組みなど、宮崎民医連会長としてもご尽力されています。多方面において奮闘されている高田先生に感謝しています。

宮崎医療生協からのお知らせ

奨学生募集

宮崎での医療や介護の道を志す学生さんをご紹介ください。

医学生：月額10万円	看護学生：月額5万円
薬学生：月額10万円	介護福祉士：月額5万円

支給期間：奨学生の決定から卒業まで
返済免除：卒業後、宮崎医療生協での就労
※支給期間によって異なります

県外でも、何年生からでも奨学金申請可能です。

医学生：宮田 (090-5286-5814)
看護学生・薬学生：松本(090-5937-6403)
介護福祉士：総務部(0985-23-7168)

医療を守る署名への協力のお礼

「地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関存続への支援を求める請願署名」へのご協力ありがとうございました。9月号の「おげんきですか」でも取り上げたこの署名は、職員本人や家族、組合員さん、出入り業者、関係団体、県内の医療機関など多くのご協力をいただき目標超過の12,303筆を集めることができました。

皆さんの思いは国を動かし、補助金や診療報酬改定などへつながっています。今後も安心して医療を受けられる地域づくりに取り組んでまいります。たくさんのご協力ありがとうございました。

第37回通常総代会

理事会は、定款51条に基づき、第37回通常総代会の開催を決定しました。

総代選挙について

任期満了に伴う第37回総代選挙が定款46条および総代選挙規約に基づいて4月1日付けで公示されます。総代定数は全県で174名、選挙区、定数等の公示内容は、宮崎医療生協本部、宮崎生協病院、和知川原生協クリニック、このはな生協クリニック、おおつか生協クリニック、生協クリニックのべおか、および宮崎医療生協のホームページに掲載されます。

立候補届け出用紙は、宮崎生協病院および各クリニックに用意しております。総代への立候補をされる方は、4月13日(月)午後5時までに宮崎医療生協本部まで提出をお願いします。

第36期 第9回理事会の報告

<審議事項>

- ①2月度の組合員活動の概要と取り組みについて報告(仲間増やし35名・増資1,938千円)
- ②平和と社会保障を守る取り組みについて報告(県内や全国的情勢・現在取り組み中の署名について)
- ③2026年1月度の経営状況について報告(法人の経常利益は2,195千円で予算未達成など)
- ④第37期総代会議案書についての提案(看護職を取り巻く現状・確保の取り組み、入職後の研修・教育についてなど)
- ⑤窓口未収金および貸倒損失についての提案
- ⑥和知川原生協クリニックの診療時間の変更について提案
- ⑦次期役員定数と推薦委員会設置について提案
- ⑧短時間正職員制度の改定について提案
- ⑨医福連地方区分理事補充の件について提案

等々、以上可決承認いたしました

今、宮崎医療生協は

2026年2月28日現在

■新規加入者 35名(2/1~2/28)	■平均出資金 12,383円
■総組合員数 44,722名	■班数 194班
■出資金 5億5,380万円	■おげんきですか手配り配布数 18,111部